

# 令和4年度 自己評価結果公表シート

学校法人 森内学園  
幼保連携型認定こども園  
花園幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・健康・安全で幸福な生活のため基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- ・人への愛情や信頼感を育て、自立と共同の態度および道徳性の芽生えを培う。
- ・自然などの身近なことへの興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ・日常生活の中で、言葉や数に対する興味や関心を育て、喜んで話したり聞いたり考えたりする力を培う。
- ・多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・園児の健康・安全を第一に考え新型コロナウイルス感染症対策をしながらの教育・保育を実施する。
- ・多様な体験・経験を重ねることにより自己肯定感を高める。

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

| 評価項目                                            | 取組状況                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育課程・指導計画の作成                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>・幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育・保育・子育て支援の全体的な計画を立案し、1年間の基本的な取り組みについて職員間の共通理解をはかった。</li><li>・毎月1回、園長・主幹保育教諭・各学年主任のもと教育・保育計画について話し合い、各学年ごとに指導計画を作成した。幼児の主体性を尊重し、幼児の成長を一番に考え指導計画を作成することができた。</li></ul> |
| 園児の健康・安全を第一に考え新型コロナウイルス感染症対策を実施し教育・保育を実施する。(継続) | <ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗いやうがい、セキエチケットなどの必要性を発達段階に応じて理解させながら取り組んだ結果、感染症対策の基本が身についた。学校における新しい生活様式や国などのガイドラインを参考に新型コロナウイルス感染症の陽性者数を鑑み、教育・保育内容や行事の内容、実施時期についてその都度、で</li></ul>                          |

|                      |                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                      | きる限り工夫して実施した。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 教育・保育業務効率化のための ICT 化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度より園児管理システムを正式稼働した。本システムを活用しての出欠確認・保護者からの連絡等について業務の効率化を図ることができた。あわせて、園舎内に Wi-Fi を完備し、業務効率化に努めた。</li> <li>園児管理システムについては、アプリで 24 時間出欠連絡や園児についての連絡が可能で、保護者からもアンケート等を通じ高評価を頂いたので今後も継続し、利便性の向上に努める。</li> </ul> |
| 研修の参加について            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催の研修が充実しことにより研修に積極的に参加し、研鑽を重ねることができた。</li> <li>・実技研修として絵画講師を招いての園内研修を実施した。</li> </ul>                                                                                               |

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己点検・自己評価の結果をふまえ、チェックリストを改訂した。その結果、昨年度以上に園全体で取り組むべき課題や職員個々の課題について把握することが出来た。

その結果、職員が一丸となって、幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちと学びをとらえ、教育・保育計画の達成への取り組みについて共通理解を深めることができた。さらに、職員が幼児教育・保育に、充実感・やりがい・喜びを大いに感じられる様一人一人が高い意識を持ち取り組むことが出来るようになった。

また、本年度も、全保護者へのアンケートを年度末に実施した。その結果、保護者のニーズ・本園において今後取り組んでいく課題を明確に把握することができ、より一層の教育効果の向上・保護者の満足度の向上が期待される。

自己評価、アンケート結果、学校関係者評価委員会・保護者からのご意見について話し合うことを通して、今後の課題への取り組みを職員が共有することができ、職員が一丸となって今後の課題へ取り組むことによって、より一層の教育効果向上と保育の充実を図ることが出来る。

#### 5. 今後取り組むべき課題

- ・教育・保育の質の向上および業務の効率化を組織的に進める。
- ・子どもの育ち・気持ちを把握し保護者の気持ちを受け止めて教育・保育内容を充実させる。また、子どもたちの姿や様子、取り組みなどについての情報をさらに発信することができるよう工夫し、保護者と保育者の信頼関係の構築に努める。

#### 6. 学校関係者の評価

- ・令和 5 年 6 月 27 日(火)に学校関係者評価委員 10 名の方(欠席 1 名)に、「令和 4 年度自己点検・自己評価」・「令和 4 年度保護者アンケート」の結果をもとに学校評価を実施して

頂きました。

その結果、委員の方々からは、おおむね自己評価については妥当であると評価頂きました。

#### 学校評価委員様より頂いた主なご意見

- ・自己評価について、保護者の立場から見ると先生方の評価は厳しめに感じ、先生方の教育・保育に対する意識の高さがわかり信頼して園に通わせることができる。
- ・毎日夕方頃に、その日の子どもたちの様子や活動内容をブログで公開してくださるので、子どもたちがどのように園で生活しているのかわかり、安心することができるので今後とも継続してください。
- ・特に重要な園児の情報に関しては、保護者の方にも協力を依頼し確認を徹底してください。

#### 7. 財務状況

当園は毎年、年3回、公認会計士による監査を実施致しております。本年度も適正に運営されていると認められています。